

## 「日本史A」学習指導案

日 時 平成28年7月15日(金) 第5校時(12:55~13:45)  
場 所 2階・2年A組教室  
対 象 2年A組「日本史A」選択者(41名)  
授業者 戸沼 義明

### 1 単元名 (2)ア 近代国家の形成と国際関係の推移 「明治維新」(文明開化)

#### 2 本時の目標

- (1) 文明開化による欧米文化の導入が国民生活に与えた影響について考察させる。  
(2) 文明開化や明治政府の諸改革に伴う社会や文化の変容についての関心と学習意欲を高める。

#### 3 本時の展開

指導過程	指導内容	生徒の学習活動	評価の観点	指導上の留意点
導入 10分	文明開化について  学習課題と目標の確認	○「明治10年代の銀座の風景」の絵画資料から生活や文明の変化(洋風化)について考察する。 ○単元を中心となる問いを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【問い】文明開化や明治新政府の諸改革で、国民生活は良くなったのか？悪くなったのか？ 予想…良くなった( )名・悪くなった( )名</div> ○問いに対する自分なりの仮説(予想)を立てる。		・ワークシートに記入させ、ペアワークで考察させる。          ・ワークシートに記入させる。
展開 30分	国民に与えた影響について	○文明開化による欧米文化の導入や生活様式の変化について、ミニディベートを行う。 ①「メリット(賛成意見)」と「デメリット(反対意見)」についてそれぞれ考えさせる。 ② 賛成の立場、反対の立場それぞれから意見を述べる。 ③ 審査員がより説得力があった方をジャッジする。 ○グループごとに文明開化のメリットとデメリット(議論で出てきた意見)についてポスターにまとめ提示する。		・ <del>必要に応じて</del> 事前に下調べをさせる。 ・グループ4名のうち賛成論者、反対論者、司会者、審査員を役割分担し、役割を変えて2回行う。 ・グループで協力させる。 ・活動の流れと時間設定を明示する。
整理 10分	学習のふりかえりと次時の予告	○文明開化に関する資料から肯定的な見方と否定的な見方を紹介し比較する。 ・仮名垣魯文『安愚楽鍋』 ・ビゴーの見た文明開化と日本人 ○本時の学習について感想を書く。	関心・意欲・態度	・本時の学習を振り返り、ワークシートに感想を記入させる。

#### 4 評価の方法

文明開化による欧米文化の導入が国民生活に与えた影響について関心を持ち、学習意欲を高めようとしている。(ワークシートの記入、活動の観察、生徒による自己評価)

# 「日本史A」単元の指導と評価計画

(北海道伊達緑丘高等学校 戸沼 義明)

## 【単元の目標と評価の観点】

単元名	「明治維新」(全6時間) (2)ア 近代国家の形成と国際関係の推移			
単元の目標	文明開化などにみられる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容について着目し、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     &lt;単元の中心となる問い&gt; 文明開化や明治新政府の諸改革で国民生活は良くなったのか？悪くなったのか？                      —それぞれの立場(旧藩主・士族・平民など)から考えてみよう。                 </div>			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価規準	文明開化や明治政府の諸改革に伴う社会や文化の変容に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しようとしている。	文明開化や明治政府の諸改革に伴う社会や文化の変容から課題を見だし、国際関係の推移や国民生活と関連付けて、多面的・多角的に考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。	文明開化や明治政府の諸改革に伴う社会や文化の変容に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、情報を読み取ったり、図表にまとめたりしている。	文明開化や明治政府の諸改革に伴う社会や文化の変容についての基本的な事柄を、国際関係の推移や国民生活と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

## 【単元の指導と評価計画】

時程	学習内容	評価の観点				評価方法等		
		関	思	技	知			
第1時 本時	【ねらい】文明開化による欧米文化の導入が国民生活にどのような影響を与えたか予想させ、関心を高めさせる。	【問い】文明開化は、果たして国民に受け入れられたのだろうか。				◎	さまざまな資料から当時の生活様式の変化について、日本人と西洋人との風習や価値観の違いなどと関連付けながら考察させる。	文明開化による欧米文化の導入が国民生活に与えた影響について考察し、学習意欲を高めている。(ワークシート)
第2時	【ねらい】明治新政府の方針に関する資料を読み取り、その方針をすぐに実現できなかった要因について考察させる。	【問い】明治新政府が掲げた「公議世論の尊重」や「開国和親」の現実はどうであったか。					◎	さまざまな資料から明治新政府がめざした近代国家のすがたを読み取るとともに、近代国家の実現に向けた課題についてまとめる。
第3時	【ねらい】廃藩置県の成立の過程と旧藩主(華族)の扱いの変化について理解させる。	【問い】旧藩主たちの多くが「廃藩置県」を受け入れたのはなぜだろうか。				◎	廃藩置県の成立の過程や旧藩主(華族)たちの扱いがどのように変化したかについて、教科書等を用いてノートにまとめる。	廃藩置県の成立の過程や四民平等における華族の扱いについて理解している。(ノート)
第4時	【ねらい】地租改正の改革内容について図表などにまとめさせ、農民にどのような影響を与えたか考察させる。	【問い】「地租改正」によって農民の負担は「軽くなった」だろうか「重くなった」だろうか。				◎	地租改正の意義や過程と結果について図表などを用いてまとめさせ、農民の生活が以前と比べてどう変化したか、話し合いなどによりまとめる。	地租改正の意義や過程と結果について、図表などを用いながら適切に表現している。(ワークシート)
第5時	【ねらい】四民平等により士族の特権が失われていく過程についてまとめさせ、士族が不満を高めていった要因について追究する。	【問い】なぜ士族たちは反乱を起こしたのだろうか。				◎	士族が不満を高めていった要因について、さまざまな観点(秩禄処分、徴兵制、征韓論など)から追究し、グループごとにまとめ、発表する。	グループ活動に積極的に参加し、四民平等により士族の特権が失われていく過程と要因について、適切にまとめている。(ワークシート、観察)
第6時	【ねらい】ロシアとの国境画定や朝鮮・清・琉球との外交関係について、地図や年表などを用いてまとめさせ、日本がこのような外交政策を行った要因について考えさせる。	【問い】明治初期の日本は、近隣諸国とどのような関係を結ぼうとしたのだろうか。				◎	日本の国際的地位を向上させるための対外政策について、史料から情報を読み取ったり、地図や年表などに適切に表現したりする作業を通じて、その全体像を捉えさせる。	明治初期の外交について、資料から情報を読み取り、地図や年表などに適切に表現している。(ワークシート)
		【単元のまとめ】一連の諸改革は日本の欧米諸国と対等の地位に引き上げるために政府主導で行われ、国民の反発や混乱もあったが、国民に世界への窓を開き近代への覚醒を促した。						

※関：関心・意欲・態度 思：思考・判断・表現 技：資料活用の技能 知：知識・理解

2016年度「日本史A」ワークシート 明治維新（文明開化） 【配付】 月 日（ ） 【提出】 月 日（ ）	2年 組 番 氏名	評価
---	--------------	----

【単元の問い】

あなたの予想 … ( )

《作業1》「明治10年代の銀座の風景」を参照し、欧米から導入された文化や技術に該当するものを○で囲み、下の回答欄に記入しよう。




《作業2》「文明開化」（欧米文化や制度の導入＝西洋化）について、ミニディベートをしてみよう。

	賛成（肯定・メリット）の意見	反対（否定・デメリット）の意見
自分の アイデア	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
他者の アイデア	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

☆授業を通して、考えたことや、疑問に思ったこと、さらに追究したいと思ったことなどを書きなさい。

＝自己評価（学習全体を通じて）＝

- (1) 今日の授業を通して文明開化について理解できましたか。
- (2) 今日の授業を通して「考える」ことができましたか。
- (3) 受け身にならず意欲的に学習に取り組めましたか。
- (4) グループで協力し、自分の役割を果たすことができましたか。

良い ← ————— → 悪い

- ( A ・ B ・ C ・ D )
- ( A ・ B ・ C ・ D )
- ( A ・ B ・ C ・ D )
- ( A ・ B ・ C ・ D )

## 《研究授業②「日本史A」》

「日本史A」の授業は、明治新政府の諸改革や文明開化(西洋文化の移入)により「国民生活は良くなったのか?悪くなったのか?」という問いをもとに、グループによるミニディベートを行いました。賛成・反対両方の立場からさまざまな意見が出され、多面的・多角的に考察することができました。

